



学校だより

令和2年9月30日

No.7 10月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

マスク越しの笑顔

校長 荒井 健

夏休み明けの学校生活は、感染症対策に加えて、猛暑対策にも取り組まなければならないという厳しい状況での毎日でしたが、無事9月を終えて、10月を迎えることができました。

ご家庭におかれましても、日々様々なケアをしていただき誠にありがとうございます。子どもたちの笑顔がこれからも続くよう、今後の教育活動を進めてまいります。

○マスク越しの笑顔

マスクをしていると口元が隠れるため、表情が読みとりづらい…と思いがちですが登校してくる子どもたちの表情は、マスクをしていてもだいたい分かります。笑顔なのか、元気なのか、気持ちが少ししずんでいるのか…。表情は口元だけではなく、目元などにも出ます。

私も、子どもたちの登校の様子を見てみると、自然と笑顔になります。マスク越しでも、子どもたちに笑顔が伝わっているのでしょうか。マスク越しではありますが、これからも笑顔あふれる学校になるよう全教職員で日々の教育活動を工夫してまいります。



○猛暑

夏休み明けから9月中旬にかけては、猛暑の日々でした。「横浜市立学校熱中症対策ガイドライン」に示された「暑さ指数(WBGT)と学校の対応」によりますと、「WBGT 31℃以上 乾球温度(目安) 35℃以上は、危険(運動は原則中止)」と規定されています。そのため、WBGT 31℃以上になった時点で、体育の授業は中止になります。このような状況でしたので、夏休み明けの体育の授業は中止になることが多くありました。10月には、体育の授業も、より伸び伸びできることと期待しています。



【職員室内掲示版】

○体調管理

そんな厳しい環境の中でしたが、ご家庭のご協力のおかげで、夏休み明けから9月までの欠席者数は昨年度とほぼ同程度でした。

4月から5月まで一斉休校と言う異例の状況で始まった今年度、様々なストレスが子どもたちに生じていると思われませんが、ご家庭でのケアのおかげで、学校生活に大きな支障をきたすような状況は、今のところ見られません。ただ、学校生活には、まだまだ制約があることも事実ですので、見えないところでストレスを抱えていることもあろうかと思えます。今後も気を付けて見てまいりますので、ご家庭におかれましても引き続きご協力をお願いいたします。

